

2021/04/07 (予定) 機能追加

利用者ごとに伝票の入力や参照ができる部門を制限する機能を追加 他 15 件

目次

- 利用者ごとに伝票の入力や参照ができる部門を制限する機能を追加
- 利用者ごとにマスターや伝票の入力項目を制限する機能を追加
- 入数・入数2・箱数（拡張項目1～3）などの入力可能な桁数を増やしたい
- マスターを一括登録する機能を追加
- マスターをリスト上で直接修正したり名称などの一部を一括で修正する機能を追加
- 『商奉行クラウド』の〔得意先〕メニューに与信限度額の設定を追加
- 伝票に入力する商品の組み合わせをセット商品として登録する機能を追加
- 単価登録時に税抜単価から税込単価を自動計算するように変更
- 部門別、プロジェクト別の請求に対応
- 入金情報で「入金日付」と「入金区分」の初期値を追加
- 『蔵奉行クラウド』にワンクリックで切り替えたい
- ショートカットキーを追加
- 得意先元帳に仕入伝票同時入力の「仕入」の明細を出力したくない
- 帳票出力時の条件設定に自分だけのパターンを作成したい
- 『管理ポータル』の一部のメニューを当サービスからも利用できるように対応
- [セキュリティ] メニューのメニュー構成を変更

利用者ごとに伝票の入力や参照ができる部門を制限する機能を追加

利用者は、権限が付与された部門に対してだけ、伝票の入力や参照、管理帳票の集計ができます。

追加メニュー

メインメニュー右上の🔑から〔利用者権限〕メニューの「部門権限」

対応メニュー

メインメニュー右上の⚙️から〔運用設定〕メニュー

利用者ごとにマスターや伝票の入力項目を制限する機能を追加

利用者は、入力権限が付与されたマスターや伝票の項目・ファンクションに対してだけ入力できます。意図しないデータの入力や変更を防げます。

追加メニュー

メインメニュー右上のから「利用者権限」メニューの「入力権限」

対応メニュー

メインメニュー右上のから「運用設定」メニュー

入数・入数2・箱数（拡張項目1～3）などの入力可能な桁数を増やしたい

以下のように入力可能な桁数が増えました。

項目	変更前	変更後
入数（拡張項目1）	整数4、小数4	整数7、小数4
入数2（拡張項目2）	整数4、小数4	整数7、小数4
箱数（拡張項目3）	整数5、小数4	整数7、小数4
基準単位当り荷姿区分 （『Sシステム』をご利用の場合）	整数4、小数4	整数7、小数4

拡張項目1～3・荷姿の名称は、「運用設定」メニューで変更できます。

マスターを一括登録する機能を追加

各メニューから一括登録画面を開き、独自形式のファイル（Excelファイル）を登録画面にドラッグ&ドロップして一括登録できます。

対応メニュー

- 【法人情報】 - 【部門】 - 【部門】メニュー
 - 【プロジェクト】 - 【プロジェクト】メニュー
 - 【担当者】 - 【担当者】メニュー
 - 【摘要】 - 【摘要】メニュー
- 【取引先管理】 - 【得意先】 - 【請求締日】メニュー
 - 【直送先】 - 【直送先】メニュー
- 【商品管理】 - 【商品】 - 【商品区分】メニュー

マスターをリスト上で直接修正したり名称などの一部を一括で修正する機能を追加

対応メニュー

- 【法人情報】 - 【部門】 - 【部門】メニュー
 - 【プロジェクト】 - 【プロジェクト】メニュー
 - 【担当者】 - 【担当者】メニュー
 - 【摘要】 - 【摘要】メニュー
- 【取引先管理】 - 【得意先】 - 【請求締日】メニュー
 - 【直送先】 - 【直送先】メニュー
- 【商品管理】 - 【商品】 - 【商品区分】メニュー

『商奉行クラウド』の【得意先】メニューに与信限度額の設定を追加

【基本】ページの与信限度額、与信警告ラインで設定します。

使用できる条件

『債権奉行クラウド』の『Bシステム』以上をご利用の場合

対応メニュー

〔取引先管理〕 - 〔得意先〕 - 〔得意先〕 メニュー

伝票に入力する商品の組み合わせをセット商品として登録する機能を追加

伝票入力時にセット商品を指定すると、セット商品を構成する商品が伝票の明細に表示されます。
同じような伝票を毎回入力する場合に、手間が省けます。

追加メニュー

〔商品管理〕 - 〔商品〕 - 〔セット商品〕 メニュー

メインメニューの右上のから〔汎用データ作成〕メニューの「商品管理」の「セット商品データ作成」

メインメニューの右上のから〔汎用データ受入〕メニューの「商品管理」の「セット商品データ受入」

対応メニュー

メインメニュー右上のから〔運用設定〕メニュー

〔販売管理〕 - 〔見積処理〕 - 〔見積書〕 メニュー（『Sシステム』をご利用の場合）
- 〔受注処理〕 - 〔受注伝票〕 メニュー
- 〔売上処理〕 - 〔売上伝票〕 メニュー

単価登録時に税抜単価から税込単価を自動計算するように変更

税抜単価または税込単価を入力した際に、もう一方の単価が未登録の場合は、入力した単価からもう一方の単価を自動計算して表示します。

対応メニュー

〔商品管理〕 - 〔価格〕 - 〔単価〕 メニュー

部門別、プロジェクト別の請求に対応

部門ごとに個別に請求するか、プロジェクトごとに個別に請求するかを部門単位、プロジェクト単位で設定できます。設定に応じて、部門ごとの請求書発行、プロジェクトごとの請求書発行、請求先でまとめた請求書発行ができます。

使用できる条件

『債権奉行クラウド』をご利用の場合

対応メニュー

〔法人情報〕 - 〔部門〕 - 〔部門〕 メニュー
〔法人情報〕 - 〔プロジェクト〕 - 〔プロジェクト〕 メニュー
〔債権管理〕 - 〔請求処理〕 - 〔請求締め〕 メニュー

入金情報で「入金日付」と「入金区分」の初期値を追加

非連結をご利用の場合に、初期値を設定することで都度入金区分を「非連結」に変更する手間が省けます。

対応メニュー

〔債権管理〕 - 〔入金処理〕 - 〔入金情報〕 メニュー

『蔵奉行クラウド』にワンクリックで切り替えたい

『蔵奉行クラウド』をご利用の場合に、メニューリストからワンクリックでサービスを切り替えられるようになりました。

使用できる条件

『蔵奉行クラウド』をご利用の場合

ショートカットキーを追加

ショートカットキーで、コピー・貼り付けなどをスムーズに操作できます。
Windowsで標準的に使われているキー操作と同じ感覚で利用できます。

- 明細行を選択している状態

キー	操作
[Ctrl] キー+ [C] キー	行コピー
[Ctrl] キー+ [V] キー	行貼り付け
[Ctrl] キー+ [+] キー	空白行挿入
[Ctrl] キー+ [-] キー	行削除
[Ctrl] キー+ [T] キー	付箋

対応メニュー

- [商品管理] - [商品] - [セット商品] メニュー
- [販売管理] - [見積処理] - [見積書] メニュー（『Sシステム』をご利用の場合）
 - [受注処理] - [受注伝票] メニュー
 - [売上処理] - [売上伝票] メニュー
- [債権管理] - [請求処理] - [債権伝票] メニュー
 - [入金処理] - [入金伝票] メニュー
 - [開始残高] - [債権残高] メニュー
 - [前受金残高] メニュー

得意先元帳に仕入伝票同時入力の「仕入」の明細を出力したくない

[得意先元帳 - 条件設定] 画面の [詳細] ページで「売上仕入区分が仕入の明細を表示する」のチェックを外すことで、出力対象外にできるようになりました。

使用できる条件

『Sシステム』をご利用かつ『蔵奉行クラウド』の『Sシステム』をご利用の場合

対応メニュー

- [販売管理] - [管理帳票] - [得意先元帳] メニュー

帳票出力時の条件設定に自分だけのパターンを作成したい

複数の利用者が当サービスを運用している場合に、自分だけが利用する帳票出力パターンを作成できるようになりました。他の利用者に変更・削除されずに毎回同じ条件設定で帳票を確認できます。

対応メニュー

- [販売管理] 内のパターンが選択できるすべてのメニュー
- [債権管理] 内のパターンが選択できるすべてのメニュー

『管理ポータル』の一部のメニューを当サービスからも利用できるように対応

『管理ポータル』の一部のメニューを当サービスのメニューに追加し、メニュー権限を設定できるように対応しました。メニュー権限を設定された業務の担当者が、当サービスの法人ごとの限られた情報に対して操作できるため、お客様の運用にあわせた権限設定ができます。

それに伴い、[利用者] メニューの機能も追加しています。『管理ポータル』と同様に利用者の一覧を表示し、登録や修正ができます。

複数の利用者が当サービスを運用している場合に利用します。

対応メニュー

メインメニュー右上のから [利用者] - [利用者] メニュー

追加メニュー

メインメニュー右上のから [利用者] - [組織] メニュー

- [法人権限] メニュー
- [利用サービス] メニュー

[利用者権限] - [メニュー権限] メニュー

[セキュリティ] メニューのメニュー構成を変更

メインメニュー右上の（[セキュリティ] メニュー）のメニュー構成を変更しました。

複数の利用者が当サービスを運用している場合に利用します。

変更前	変更後
[利用者] メニュー	[利用者] - [利用者] メニュー

内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。